

12月定例会を開催しました

平成30年12月4日から21日まで、平成30年第7回高梁市議会定例会が開催されました。今回の定例会には、前回9月定例会の際に災害対応を優先するため先送りにされていた平成29年度の決算審査が行われました。定例会には36議案と2件の請願が提出され、議案は全て可決、請願は不採択とされました。



委員会構成が新しくなりました



三村靖行

副委員長 石井聡美

石田芳生

委員長 内田大治

川上修一

倉野嗣雄

員会で、それぞれの所管事項の決算について審議するという形に変更しました。

また、昨年10月末に委員会の改選があり、委員が新しくなりましたので、新委員の紹介と併せて、3つの常任委員会を改めて紹介しています。

一般会計全般

Q 地方交付税の縮減が始まっている中で、黒字決算だが、自主財源を確保するためどんな努力をしたのか。

A 監査委員からも収入の確保が課題という意見があった。市では市税の収納率^(※1)の向上を図ってきた。行革プランの中で、新たな財源の確保が課題となっている。ふるさと納税や広告

収入の確保も検討し、引き続き財源確保に努める。

Q 経費削減の結果、不用額^(※2)が出ているならよいが、予算編成の見込みが甘かったのではないかと思える部分もある。

A 経費削減に努めるのは当然だと考えている。しかし、予算の補正は1月末頃が締め切りになっており、

そこから3月までの間に予算不足を生じさせないために確保しておく必要があるが、特に医療費や扶助費などについては見込みを立てるのが難しい。当初予算の見込みが甘かったというわけではないと考えている。

(※1) 収納率…税の見込額に対して実際に納められた額の割合

(※2) 不用額…予算額から決算額を引いた金額

就農奨励金

Q 就農奨励金について説明書では平成29年度は7名に交付された。今後の見通しはどうなっているのか。

A 平成30年度は6名分の予算を計上している。就農奨励金は市単独事業なので、行革の事業見直しにより、今後新たに発生するものについては交付しない。



有害鳥獣対策

Q 鳥獣対策の各種支援策については、成果としてどういったものが出ているのか。地域の要望に込えているのか。

A 有害鳥獣対策室を平成29年4月に設置し、防護柵、駆除奨励金、緩衝帯整備などを支援してきた。また、猟友会の協力を得て鳥獣被害対策実施隊を再結成し、防護の強化、駆除の強化を行っている。

防護柵設置補助金については210名の方に交付した。防護柵を設置すると、設置していない農地のほうに農作物被害があるという意見が寄せられているので、要望に応じていきたい。

電源立地地域対策交付金について

Q 学校給食費補助金100万円が、電源立地地域対策交付金から出ているのはなぜか。

A 従来はハード事業に充当していたが、県の指導により平成29年度からソフト事業に移行している。学校給食センターの臨時給食調理員の人件費の一部に充当している。

Q 人件費ということは、この財源がなければセンターの運営ができないということではないか。

A 人件費総額4482万658円のうちの1000万円に充当している。今のところは交付金を学校給食の方へ充当させていただいている。

産業経済委員会

産業経済委員会は6人で構成されます。担当分野は農林、商工業、産業振興、観光、まちづくり、土木建設、水道、簡易水道、下水道、岡山道四車線化推進のほか、市道や橋、公営住宅の建設や維持管理、災害復旧に係る事業などです。農業委員会の所管に属することも本委員会の担当です。

総務文教委員会

総務文教委員会は6人で構成されます。担当分野は総務、教育、消防の3つの分野に大きく分けられます。総務では、市の財政や各種計画に関わるものなどを担当しています。教育では幼稚園、小中学校、市立高校に関するもの。また、文化センター、図書館や美術館といった社会教育の分野も担当しています。様々な災害に対する防災も総務文教委員会が担当しています。

委員会構成が新しくなりました



平松賢司

副委員長 伊藤泰樹

宮田公人

委員長 森田伸一

宮田好夫

大月健一